

「複数事業所で訪問看護を提供する体制」の調査結果（R2年）

1 調査の経緯

平成31年に長崎県訪問看護サポートセンター事業の一環として『複数事業所での訪問看護サービスを提供するためのガイドライン』を作成し長崎県内の各事業所に配布しました。そして令和元年8月にガイドラインの利用状況や複数事業所での取り組み状況調査を実施。今回その後の取り組み状況の把握のために複数事業所でのサービス提供の実施に意向を示されていたステーションで概ね過去1年以内に複数事業所でのサービス提供を実施した35ヶ所の事業所へ令和2年6月に調査票により調査を実施しました。

2 今回の調査より * 調査結果は末尾に掲載

・35事業所（長崎県内）に配布し23事業所回収

1) **複数事業所での取り組み理由**はリハビリスタッフ不在を上げたのが79件の内38件でもっとも多かった。

その他の理由は利用者の希望、医師の指示、頻回訪問や営業日以外の訪問希望であった。

2) **利用者の状況**は難病が25件、リハビリテーションが必要25件でともに30%と多かった。

考えられる理由としては

(1) 難病患者は、週に複数回から毎日訪問が必要な頻回訪問の状況が多く、1事業所では人力的に対応が困難

(2) リハビリテーションを必要とする利用者が多くなっている。リハビリスタッフが在職している事業所が増えてきているが職員数は少数

3) **対象者の訪問継続期間**は1～3カ月の短期間が9件、3カ月以上1年以内が36件であった。

ターミナル期（医療保険）等の短期集中的な利用の仕方ではなかったことが考えられる。

4) **複数事業所による訪問看護提供体制上の問題**があげられる。

緊急時対応や同一日に異なる事業所が訪問した時の請求上の問題

事業所独自の加算や保険外料金の違いを利用者にどう説明するか

上記の2つの状況を居宅介護支援専門員が理解していない

医師が必要性或制度を理解していない

連絡連携に時間を要する（手間・わずらわしい）がそれに対する加算・収益が無い

利用者の料金負担が増える

事業者間の差（取り組む姿勢・技術等）

5) **複数事業所による訪問看護提供の有益性**がある。

複数でかかわることにより遠方の利用者・人員不足でも対応できる

利用者が求めるリハビリなど専門職のニーズに応えられる

休日・緊急時対応しやすくなる

「複数事業所で訪問看護を提供する体制」の調査結果（R2年）

3 まとめ

今回の調査は、2年前の調査で複数事業所でのサービス提供の実施に意向を表明したステーションのうち過去1年間で経験ありの35事業所を対象にしたため実施事業所の増減は不明。同じく保険の種類の違いについても医療依存度が高い医療保険対象者が頻回訪問になると予測していたがこちらも不明であった。

在宅における利用者のニーズは看護職の観察・処置だけではなく、リハビリテーション要素は行っていたがより専門的な介入と評価による生活機能の維持目的のリハビリテーションがターミナル期を含む全ステージにおいて求められていると考える。2年前の調査でもリハビリテーションの需要が多かったが複数事業所によるサービスを提供・協働し利用者の療養の場を支えて行く必要があると言える。

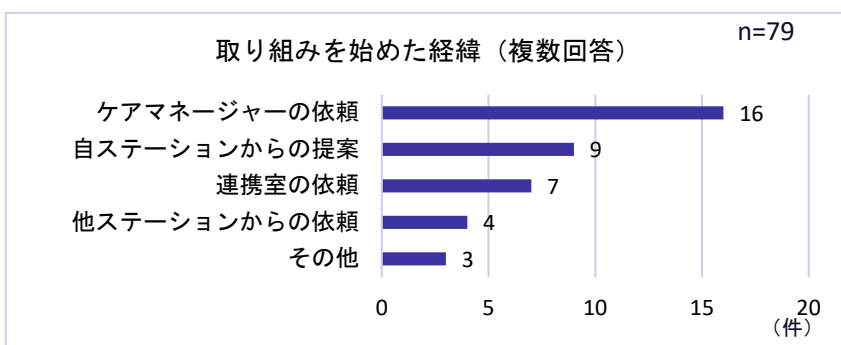
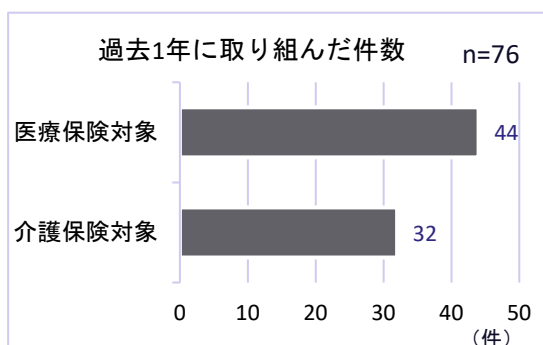
複数事業所での関わりを考える時に有益性として注目したいことは今回のアンケートに1事業所の記載にあったが災害時の対応である。7月に入り訪問看護ステーションにおける対応や不安感はやや落ち着いてきてはいるが3月4月時点での新型コロナウイルス感染症問題では自事業所での利用者様やスタッフに感染者が出た場合にその後の訪問看護はどうなるのかが大きな不安であった。新型コロナウイルス感染症の対応をはじめ災害時への対応に備えるという点では有用と考えられる。複数事業所での対応を経験している方が他事業所に訪問を依頼するあるいは協力を得ることもしやすい。そして複数事業所での関わりは地域包括システム構築においても取り組む必要があると言える。

複数事業所での支援関わりは、特別管理料が請求できるようになったことなど若干の制度の改善点はあったが実際複数事業所の増加としての実感はあまりない。問題点として記載しているが収益に繋がらない連絡連携の手間や同一日の複数事業所訪問発生時の請求が出来ない事は制度的にも検討されると複数事業所での対応を増やすことに繋がるとアンケートから言える。

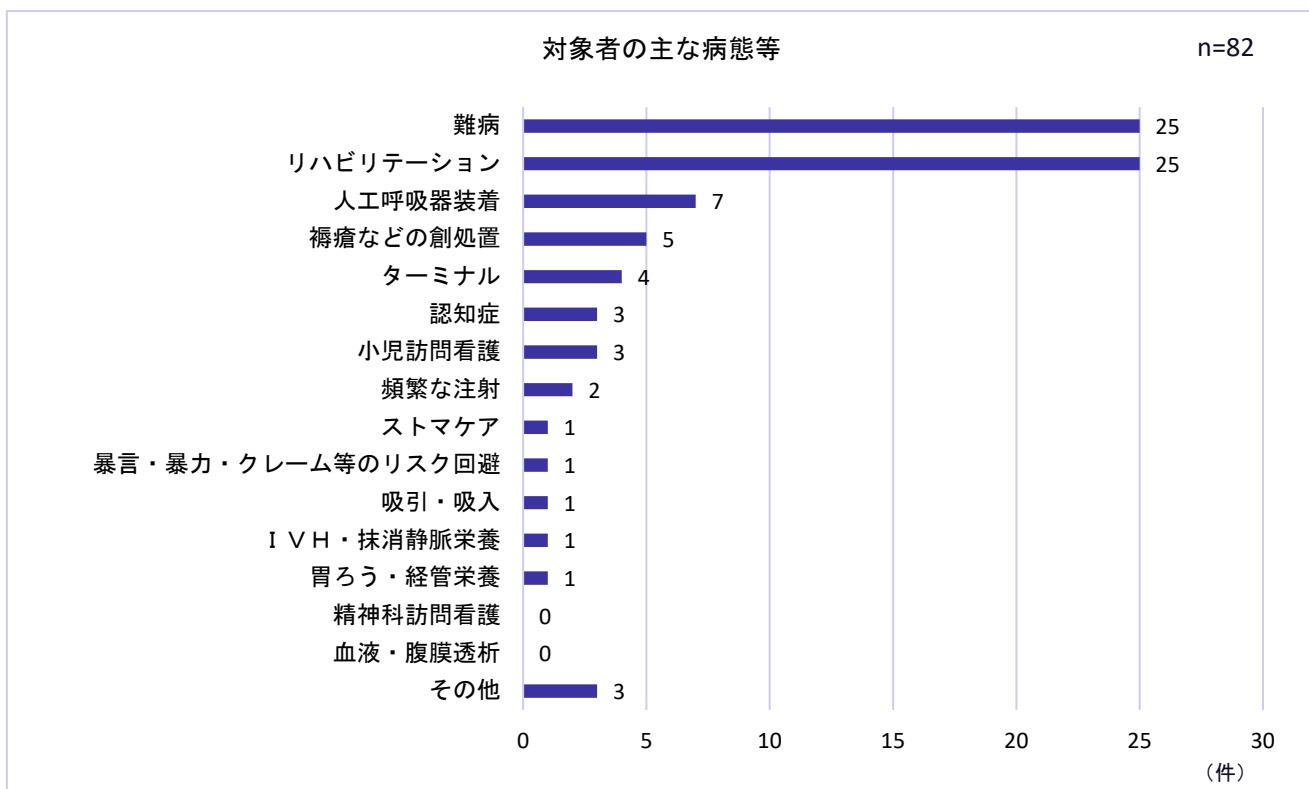
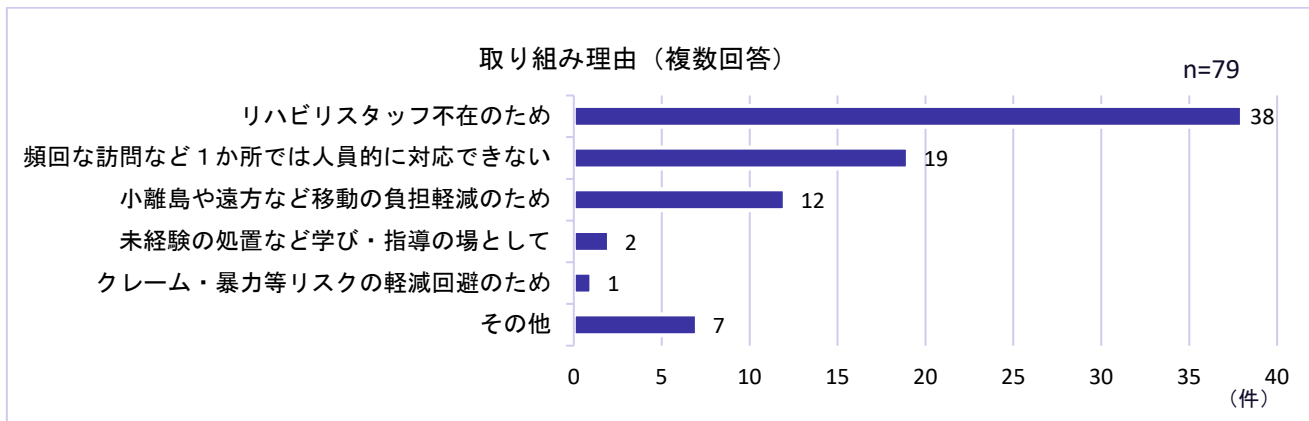
また機会があれば①実際の複数事業所での取り組み数が増えているのか？②複数事業所対応への利用者のニーズや必要数・必要性については居宅介護支援専門員が一番把握していると思われそこからの情報を得る必要がある。③居宅介護支援専門員や医師の理解不足について意見があったが実際はどうか？など調査の必要性もあると考える。

令和2年6月の調査結果

* 35事業所（長崎県内）に配布し23事業所回収



「複数事業所で訪問看護を提供する体制」の調査結果（R2年）



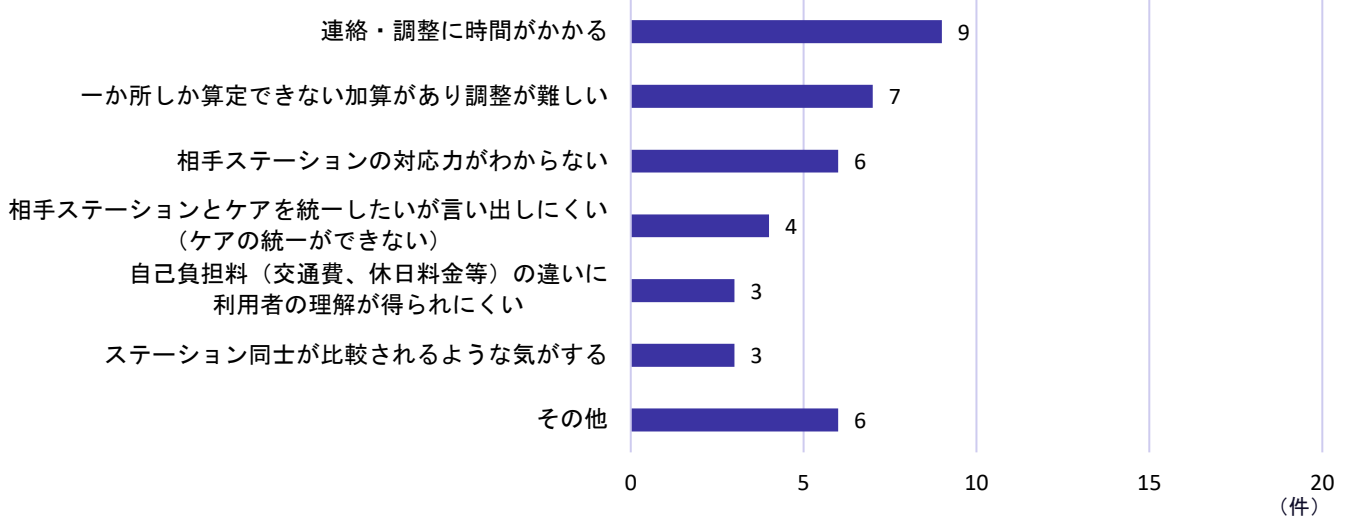
訪問期間（N = 79）

1ヶ月	1～3ヶ月	4～6ヶ月	7～11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月以上
3件	6件	8件	9件	19件	22件

「複数事業所で訪問看護を提供する体制」の調査結果（R2年）

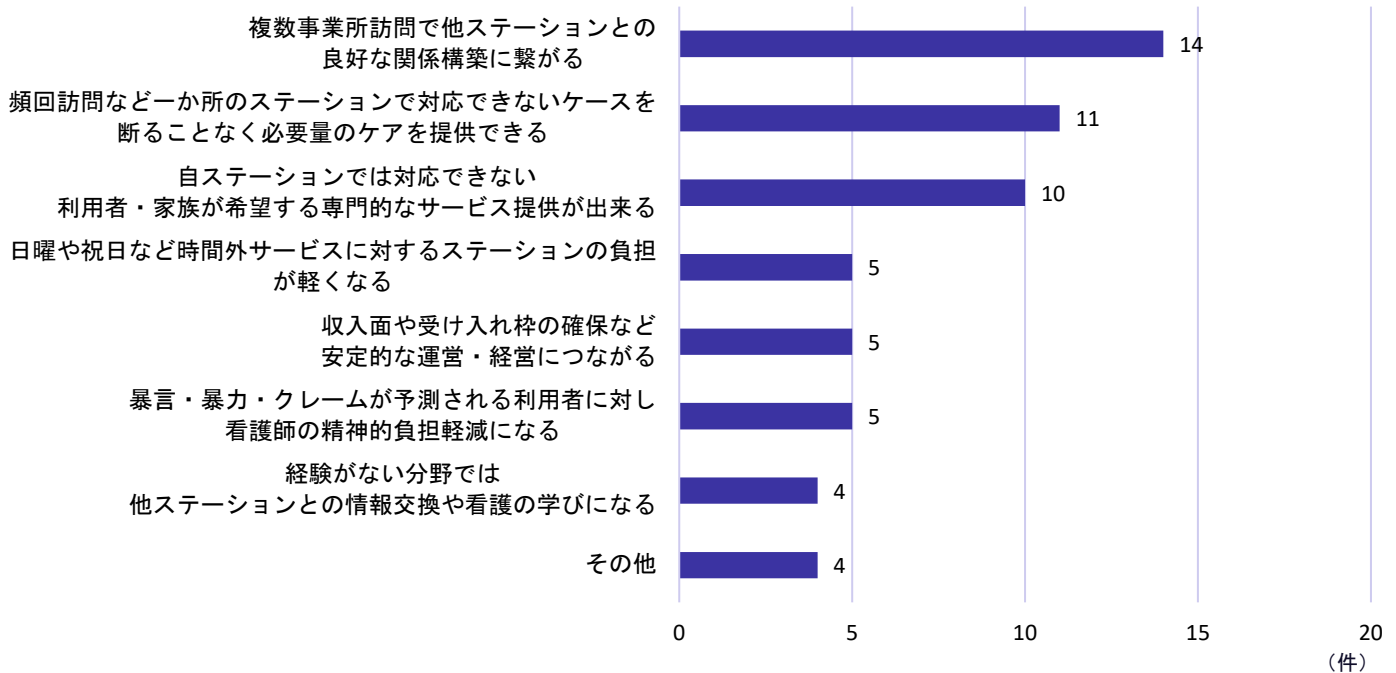
デメリット・困ったこと（複数回答）

n=38



メリット（複数回答）

n=58



「複数事業所で訪問看護を提供する体制」の調査結果（R2年）

自由記載

メリット	24時間の体制をとっていないため、必要が出た場合に依頼させていただける
	当ステーションが遠方のため緊急時の対応が早く対処できる
	感染予防対策においても、人員不足においても、対応できケアを断ることなくケア提供ができる。
デメリット	緊急訪問の調整、指示書の確認が難しい
	主になるステーションがあっても、主ではなくても、訪問時の状態により主治医に連絡や情報提供書を作成したり等行うが、出しゃばりすぎたかなと対応はどうだったと思うこともある。
	ケアの方法など電話で情報交換している為、長時間になり時間がかかる
	遠方の場合の、当ステーションがリハビリで訪問した同日の緊急訪問の対応が困難（摘便処置のため同日は訪問している）
	利用者が他ステーションの苦情を言っても伝えにくい。
関係者への説明時の反応で困ったこと	
連携室	当ステーションは複数の場合リハビリの訪問が主なため、モニタリングの必要性を理解していただけない。
介護専門員	24時間対応の必要性を伝えるも、積極的な協力が得られないことがあった。
	当ステーションは複数の場合リハビリの訪問が主なため、モニタリングの必要性を理解していただけない。
	ステーション間で加算のとり方など相談し、ケアマネさんへ報告したが、理解が難しかったのかなか提供票が正しく仕上がらなかった。
	2ヶ所のSTで利用したことがないと言われ、困ったと言われたこと。
	加算をどちらにつけるかなど整理した。
	対応の熟練度が違いすぎる。ターミナルが特にスピード感必要など。
利用者・家族	24時間対応のステーションの必要性を説明するも、変えたくないと言われ、導入に時間がかかる。
	ケアの違いを指摘されることがある
	訪問看護と訪問リハビリが入っていたターミナルの方で病状が進んだ時に、訪問看護が回数多く（緊急も含めて）訪問する時に、同一日に1カ所しか算定できないことを話をさせていただいたところ、訪問リハビリは中止ということでご家族より申し出がありました。
	訪問リハビリのステーションがすぐに決まらなかったため、ご家族から早く決まらないかしらとの言葉はきかれました。訪看で対応してリハビリ実施していました。
	リハビリのモニタリング訪問について理解して頂くのが困難。
	当ステーションは複数の場合リハビリの訪問が主なため、モニタリングの必要性を理解していただけない。
	24時間連絡の方法を確認した。
	理由を説明し、すぐに理解して頂いた。
その他	他ステーションのST訪問を利用していたが、コロナの影響で自施設の面会が不可となり、約2ヶ月間訪問を中止して頂いた。その間自ステーションでSTのリハビリを担当したため、稼働スケジュールが密になったこと、2ヶ月の間に言語・嚥下能力が低下しないか心配であった。

「複数事業所で訪問看護を提供する体制」の調査結果（R2年）

その他	
	助け合いながら訪問できることは良いことです。複数事業所での訪問の知識が各ステーションで共有できるよう宜しくお願いします。
	一度ターミナルの依頼があり、連日対応はできないので2ヶ所はどうか病院に提案しましたが、他のステーションをあたってだめだったらと、その後依頼はありませんでした。
	遠方の利用者様、医療ケアが必要な利用者様にいつも対応していただき感謝しております。報告書のやりとりもしていただいているので、利用者様の状況も把握でき、当ステーションのリハビリにも非常に助かっています。
	ステーション間の連携として、担当患者のカンファレンスを実施した場合の算定ができるようになってほしい。
	看護とリハの依頼はあるが、看護・看護は依頼がないです。
	以前、難病・癌ターミナルの方に何度か対応しましたが、一番は連絡に時間を要したと感じていました。緊急時対応も日を決めて対応しましたが、利用者さんは少し戸惑っていたように感じました。
	当 ST のマンパワーの問題で対応が困難な時も快く対応して下さりとても助かります。
	コロナ感染予防対策として複数が関わっていることは、ST や利用者に安心をもたらした。（休止の場合の充足のため）